

荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島子どもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

環境サポーターによる出前講座がスタートしました

環境サポーターの皆さんが、出丸小学校と太平中学校の皆さんに講話や現地指導を行いました。

出丸小学校 5年生・6年生 - 7月3日(水)

環境サポーターの安孫子さん(写真左)が5年生へ、つづら甘浦さん(写真右)が6年生へ出前講座をしました。

安孫子さんの「ミドリシジミは1年にどれくらい卵を産むか?」という質問に、「1個」「240個」「2,700個」と色々な答えが返ってきました。正解は「4,000個」、とても多いですね。

「これは、何かな?」と甘浦さんが取り出した2種類の植物。すぐに「セイタカアワダチソウ」「オオブタクサ」と答えが返ってきました。6年生は、昨年教わった外来植物*1をしっかりと覚えていたようです。



太平中学校 科学部 - 7月25日(木)

三ツ又沼ビオトープで、環境サポーターといっしょに、トンボや希少植物の調査をしました。トンボの調査では、全員があみを持って、「あそこにいる!」「逃がすなよ」などと声をかけ合いながら、慎重に捕まえていました。捕まえたトンボは図鑑で種類を調べて観察した後、三ツ又沼ビオトープへかえました。

三ツ又沼ビオトープ トピック

きれいなクモでしたー 7月6日(土)



「クモはにがて」という人もちょっと立ち止まらせるあざやかな黄色と黒のストライプ。コガネグモです。一見こわそうですが、毒はありません。埼玉県内ではなかなか見ることができなくなっているようです。

【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。



【環境サポーター】

荒川の豊かな自然が残されている三ツ又沼ビオトープを守る保全管理作業や自然学習の指導をしている市民の方々です。サポーター事務局(荒川上流河川事務所)にて登録しています。

*1 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

